

今後の放鳥計画（案）

これまでのトキ野生復帰検討会における検討結果、トキ野生復帰ロードマップの達成状況、現在の野生下トキの状況、昨年における第 12 回、第 13 回の放鳥結果等をふまえ、2016 年の放鳥計画を以下のとおりとする。

1 放鳥の方法

順化ケージからのソフトリリースにより実施する（第 3 回～第 13 回放鳥と同様）。

2. 放鳥の時期

第 14 回放鳥：春放鳥（3 月上旬頃訓練開始 6 月上旬頃放鳥）

＊第 12 回放鳥（2015 年 6 月実施）の結果、高い生存率が維持できている（資料 2 参照）ことから、第 14 回放鳥も同時期に実施することとする。

第 15 回放鳥：秋放鳥（6 月下旬頃訓練開始 9 月下旬頃放鳥）

＊第 13 回放鳥（2015 年 9 月実施）の結果、高い生存率が維持できている（資料 2 参照）ことから、第 15 回放鳥も同時期に実施することとする。

3 放鳥個体数

放鳥個体数は、19 羽（第 14 回）、19 羽（第 15 回）の計 38 羽程度とする。

「トキ野生復帰ロードマップ 2020」（案）における放鳥実施の方針、また、野生下での繁殖率がなお低い状況にあることをふまえ、2016 年においても前年とほぼ同数の個体を放鳥する。野外の個体数の性比をふまえ、第 15 回放鳥を終了した時点で、野外の個体の雌雄がおおむね同数又は雄がやや多い程度になるよう調整し放鳥を行う。なお、生息個体数の増加により、特定の時期に餌が慢性的に不足する状況がみられた場合等においては、放鳥個体数を抑制、又は放鳥を中断する。

➤ 第 14 回放鳥：オス 17 羽程度 メス 2 羽程度 合計 19 羽程度

＊ケージ内で繁殖を行わないよう、メスについては 1 歳の個体のみ選定する。

➤ 第 15 回放鳥：オス 5 羽程度 メス 14 羽程度 合計 19 羽程度

＊第 15 回放鳥の訓練開始時における野生下の個体数の性比をふまえ、必要に応じて補正する。

野生下における生存個体数(2016 年 2 月 日現在)

誕生年	年齢	オス	メス	性別不明	うち本州
2005	11		2		1 (♀)
2006	10	3	0		
2007	9	3	1		
2008	8	2	2		
2009	7	1 3	4		
2010	6	5	1 2		
2011	5	1 0	5		
2012	4	7	1 2		1 (♀)
2013	3	1 1	1 8		
2014	2	8	1 0		
2015	1	3	4		
計		6 5	7 0	2 0	2 (♀)

(参考) トキ飼育個体数一覧

(2016年2月1日現在)

年齢	ファウンダー及びA,B,Q,R,AA,AH,AQ,AZ,BA				ホアヤン、イーシューイ の第二世代		その他(放鳥候補)		合計
	ペア		その他		♂	♀	♂	♀	
	♂	♀	♂	♀					
20	1			1					2
17	1								1
16	1			1					2
15	3	1	1	1					6
14	2	1	1	2					6
13	1	5	1				2		9
12	1	1	5	1				3	11
11	1	1	2	1			1	4	10
10		2						1	3
9	1	1							2
8	2	2	1					1	6
7	2	4							6
6	2	3	1	1	2	3	2		14
5		1			3		1		5
4	3	4	1		6		2		16
3	1			1	2	1	6		15
							3*	1*	
2			5	1	5	2	17	11	41
1			2	2	2	2	14	10	32
合計	22	26	20	12	20	8	48	31	187

※野外きょうだいペアの子